

ROBERT DOISNEAU

LA MUSIQUE

PARIS



もう一曲——。

2021 2.5 FRI
3.31 WED
*会期中無休

ロベール・ド・アノー《流しのピエレット・ドリオン》1953年

写真家

ド・アノー音楽パリ

開館時間／10:00－18:00（入館は17:30まで）

夜間開館／毎週金・土曜日は21:00まで（入館は20:30まで）※金・土の夜間開館につきましては、変更になる可能性もございますので、予めご了承ください。

主催／Bunkamura、読売新聞社 協力／アトリエ・ロベール・ド・アノー 後援／在日フランス大使館／アンステイチュ・フランセ日本、J-WAVE 企画協力／コンタクト

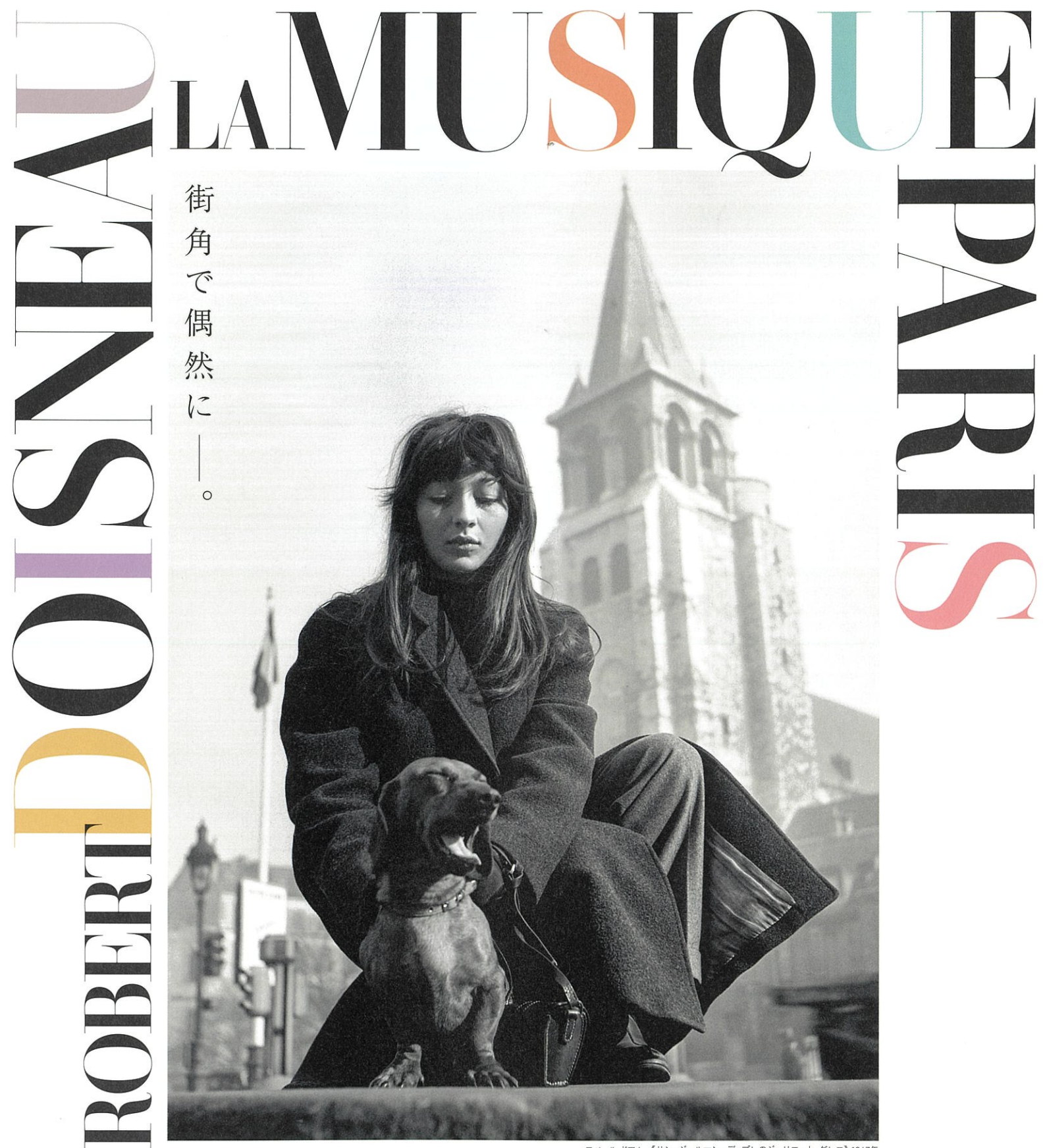
※状況により、会期・開館時間等が変更となる可能性がございます。最新情報はBunkamura HPにて随時ご案内いたしますので、ご来場の際には事前のご確認をお願いいたします。

Bunkamura ザ・ミュージアム

渋谷・東急百貨店本店横



美しい時代へ
東急グループ



街角で偶然に——。

ロバート・ドナー 《サン＝ジェルマン＝デ＝プレのジュリエット・グレコ》1947年

入館料(消費税込)	当日	前売
一般	1,500円	1,300円
大学・高校生	700円	前売は大高、 中小販売無し
中学・小学生	400円	

※学生券をお求めの場合は、学生証のご提示をお願いいたします。(小学生は除く) ※障がい者手帳のご提示でご本人様とお付き添いの方1名様は半額となります。(一般750円、大高350円、中小200円)当日窓口にてご購入ください。 ※未就学児は入館無料

前売券 ※一般のみ。大学・高校生、中学・小学生は当日券のみの取扱い。

【販売期間】2020年11月21日(土)～2021年2月4日(木)
【販売場所】オンラインチケットMY Bunkamura(QRチケットのみ)、
Bunkamura ザ・ミュージアム、Bunkamura チケットセンター

◎ ザ・ミュージアムのチケットは便利なオンラインチケット「MY Bunkamura」
をご利用ください。お得な前売券のほか、当日券の購入も並ばず便利！
MY Bunkamuraで購入すると当日券が100円引き。

登録料・システム利用料無料 MY Bunkamura 検索

※当館はQR付きチケットでの入館となります。



〒150-8507 東京都渋谷区道玄坂2-24-1

土日祝日に限り「オンラインによる入場日時予約」が必要となります。チケットの購入とは別に、日時予約のお手続きをお願いいたします。詳細は決まり次第Bunkamura HPにてお知らせいたします。

◎ JR線/渋谷駅(ハチ公口)より徒歩7分 ◎ 東京メトロ・銀座線、京王・井の頭線/渋谷駅より徒歩7分
◎ 東急・東横線・田園都市線、東京メトロ・半蔵門線・副都心線/渋谷駅(A2出口)より徒歩5分

※当館には専用駐車場はございません。東急百貨店本店駐車場をご利用ください(有料)。

お問合せ/050-5541-8600(ハローダイヤル) HP/www.bunkamura.co.jp



開催記念講演会、来場者プレゼントなど予定しております。最新情報はホームページをチェック!

Bunkamura ザ・ミュージアム

渋谷・東急百貨店本店横

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

OMRON in 鹿島 KIRIN 大和証券グループ 東急グループ

パリを愛し、パリに愛された写真家の 音楽をテーマにした約200点を紹介！

フランスの国民的写真家ロベール・ドアノーは、パリを舞台に多くの傑作を生みだし、世界で最も愛され続けている写真家のひとりです。本展は、パリの街角にあふれるシャンソンやジャズなど様々な音楽シーンを題材に1930年代から90年代にかけて撮影された、ドアノー独自の音楽的感覚に富んだ作品約200点で構成されます。2018年末から2019年春にかけて、フランス・パリ19区にある“フィルハーモニー・ド・パリ”内の音楽博物館で開催され大好評を博した展覧会を基に、日本向けに再構成した巡回展がやってきます。

パリに暮らす“普通の人々”の きらめきに満ちた生活を目撃する

1 LA RUE 第1章 街角



《音楽好きの肉屋》1953年



《パリ祭のラストワルツ》1949年

3 BISTROTS, CABARETS

第3章 ビストロ、キャバレー

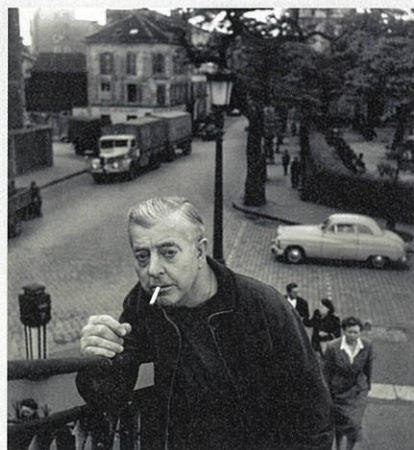


《ル・ブティ・サン＝ブノワのマルグリット・デュラス》1955年

2 CHANTEURS 第2章 歌手



《レクリューズのバルレバラ》1957年12月



《ボン・ド・クリメのジャック・プレヴェール》1955年

カメラ
ドアノーの愛機
「ローライフックス」
が日本初出展！

本展開催に寄せて

堀江敏幸

作家、フランス文学者、ロベール・ドアノー著書
『不完全なレンズで』翻訳者

ドアノーの写真には、いつも楽音が隠れている。ポートレートや風景の一枚一枚にとらえられた軽やかなムーヴメントはもちろんのこと、場所や被写体や時代が変わっても、すべてがまるでひとつの組み写真のような流れを生み出す。そこにはほとんど天然といって差し支えない、まわりを陽気にするいたずらっ子だけに許された笑みがあふれている。なんという微笑みの音楽！本展には、シャンソンからオペラまで、音楽家たちが多く登場するのだが、歌わない時でさえ彼らは歌っている。シャッターを押す前にドアノーがいかなる言葉の指揮棒を振ったのか、想像してみよう。それはまた、プレヴェールに学んだ写真家の、書き手としてのきらめきに触れるまたとない機会となるにちがいない。



《セルフポートレート、ヴィルジュイフ》1949年

Robert Doisneau (1912-1991)

ロベール・ドアノー

パリ郊外のジャンティイに生まれる。自動車メーカー「ルノー」のカメラマンを経て、フリーとして活動を開始。『ヴォーグ』誌や『ライフ』誌でファッション写真を始めとして多くの写真を発表、国際的に注目される。特にパリの庶民の日常をとらえた写真で高い評価を得る。現在でも世界各国で写真展が開かれ続けている。

JAZZ & GITANZ

第4章

ジャズとロマ音楽



《アーサー・キット、サン＝ジェルマン＝デ＝プレ》1950年



《ジャンゴ・ラインハルト》1950年

6 OPÉRA

第6章 オペラ

《バレエ「カルメン」の衣装合わせ、ジジ・ジャンメルとイヴ・サン＝ローラン》1959年



《レリタ・ミツコ》1988年10月13日

8 LES ANNÉES 80-90

第8章 80-90年代

日常生活の中で偶然出会う、
小さな種のような瞬間をカメラに収め、
それが人々の心の中で花開くことを思うと
大変うれしい

— ロベール・ドアノー



《イヴ・モンタン》1949年



《「トスカ」録音中のマリア・カラス、パティ・マルコーニレコードのスタジオにて》1963年

7 Maurice BAQUET 第7章 モーリス・バケ



《雨の中のチェロ》1957年

作品すべて：ゼラチン・シルバー・プリント ©Atelier Robert Doisneau/Contact

ROBERT DOISNEAU

LA MUSIQUE/PARIS

写真家 ドアノー／音楽／パリ

2021 10.23^{Sat} — 12.22^{Wed} 会期中無休

美術館「えき」KYOTO Museum「EKI」KYOTO
JR京都駅下車すぐ・ジェイアール京都伊勢丹7階隣接

【開館時間】＝10:00-19:30 【入館締切】＝閉館30分前 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更する場合がございます。

入館料〔税込〕＝一般 1,000円(800円)／高・大学生 800円(600円)／小・中学生 600円(400円)

※()内は前売料金。「障害者手帳」をご提示の本人さまとご同伴者1名さまは、当日料金より各200円割引。2021年8月28日(土)より10月22日(金)まで前売券販売。

販売場所＝当館チケット窓口(休館日を除く)、京都駅ビルインフォメーション、チケットぴあ(Pコード685-660)、ローソンチケット(Lコード52562)。

主催＝美術館「えき」KYOTO、京都新聞 協力＝アトリエ・ロベール・ドアノー 後援＝在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、FM COCOLO 企画協力＝コンタクト

ロベール・ドアノー《音楽好きの肉屋》
パリ 1953年2月(部分)

ゼラチン・シルバー・プリント

©Atelier Robert Doisneau/Contact



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館の際、マスク着用・検温・消毒をお願いしております。



《流しのピエレット・ドリオン》パリ 1953年2月

第4章 JAZZ & GITANS ジャズとロマ音楽



《アーサー・キット》サン＝ジェルマン＝デ＝プレ 1950年

第6章 OPÉRA オペラ



《バレエ「カルメン」の衣装合わせ、イヴ・サン＝ローランとジジ・ジャンメル》1959年

第1章 LA RUE 街角

第2章



《サン＝ジェルマン＝デ＝プレのジュリエット・グレコ》1947年

CHANTEURS 歌手

第5章 STUDIOS スタジオ



《「トスカ」録音中のマリア・カラス、パテ・マルコーニ・レコードのスタジオにて》1963年5月8日

第7章 MAURICE BAQUET モーリス・バケ



《雨の中のチェロ》1957年（部分）

第3章 BISTROTS, CABARETS ビストロ・キャバレー



《ル・プティ・サン＝ブノワのマルグリット・デュラス（作家）》サン＝ジェルマン＝デ＝プレ 1955年



《ロベール・ドアノーのセルフポートレート》ヴィルジユイフ 1949年

フランスの国民的写真家ロベール・ドアノーは、パリを舞台に多くの傑作を生み出し、世界で最も愛され続けている写真家のひとりです。本展は、パリの街角にあふれるシャンソンやジャズなど様々な音楽シーンを題材

に1930年代から90年代にかけて撮影された、ドアノー独自の音楽的感覚に富んだ作品約200点で構成されます。2018年末から2019年春にかけて、フランス・パリ19区にある“フィルハーモニー・ド・パリ”内の音楽博物館で開催され大好評を博した展覧会を基に、日本向けに再構成した巡回展です。

第8章 LES ANNÉES 80-90 1980-90年代



《レリタ・ミツコ》1988年10月13日

掲載作品はすべてゼラチン・シルバー・プリント
©Atelier Robert Doisneau/Contact

ドキュメンタリー映画

『パリが愛した写真家 ロベール・ドアノー
〈永遠の3秒〉』上映決定！

（2016年制作／80分／G／フランス／配給：ブロードメディア・スタジオ）

上映期間：劇場へお問合せください。

上映館：京都シネマ（四条烏丸下るCOCON KARASUMA 3F）
TEL075-353-4723

料金：一般1,300円 ※展覧会の半券提示で、1,000円になります。
※上映スケジュール、各種料金などは上映館にお問合せください。



美術館「えき」
KYOTO

お問合せ ジェイアール京都伊勢丹 TEL 075(352)1111（大代表）
美術館「えき」KYOTO 公式ホームページ <https://kyoto.wjr-isetan.co.jp/museum/>
※展示作品やイベント内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。



公式LINEアカウント



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載内容に変更が生じる場合がございます。

また、当館における新型コロナウイルス感染症に関する取り組みとお客さまへのお願いを、当館ホームページに掲載しております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。